

認知症サポート医の活動等 に関する実態調査について

1

島根県健康福祉部 高齢者福祉課
地域包括ケア推進室



「しまねの地域包括ケア」ポータルサイト開設



QRコード
携帯電話で
ホームページに
アクセスできます。

島根県内の認知症サポート医（敬称略）

H31.1月末現在 89名（養成数95名）

隠岐の島町(2)

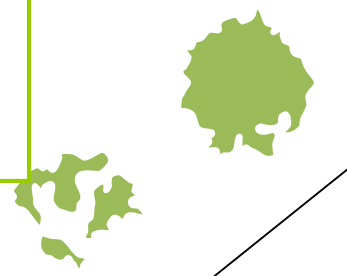
有田茂夫<隠岐病院>
加藤一朗<隠岐病院>

西ノ島町(2)

白石裕子<隠岐島前病院>
福田瑤子<隠岐島前病院>

海士町(1)

木田川利行<海士診療所>



下線のある医師はH30年度新規養成

（市町村名は所属医療機関所在地）

出雲市(13)

高橋幸男<エスポアール出雲クリニック>
深田倍行<深田医院>
土谷治久<佐田診療所>
小黑浩明、長濱道治
<島根大学医学部附属病院>
金森 隆<斐川生協病院>
山崎俊樹<あいあいクリニック>
白澤 明<寿生病院>
河野公範<海星病院>
津村弘人<つむらファミリークリニック
<み小児科>
中山真美<すぎうら医院>
石川 厚 <石川脳神経内科医院>
豊田元哉<とよだ内科頭痛クリニック>

松江市(23)

櫻井照久、福田賢司<こなんホスピタル>
細田眞司<こころの診療所細田クリニック>
松嶋永治<まつしま脳神経内科クリニック>
妹尾晴夫、柴田昌洋、百瀬 勇
<松江青葉病院>
下山良二<松江医療センター>
吉岡太佑<吉岡医院>
杉谷美代子<いんべ杉谷内科小児科醫院>
内藤 篤<松江記念病院>
佐々木 亮<鹿島病院>
川又あゆみ<松江赤十字病院>
萬代恵治<松江刑務所>
松本和也<入澤クリニック>
中島健二、古和久典、深田育代
<松江医療センター>

野津立秋<野津医院>
原田 敦<松江記念病院>
泉 明夫<泉胃腸科医院>
伊達伸也<東部島根医療福祉センター>
坂之上史<鹿島病院>

安来市(9)

杉原徳郎<杉原クリニック>
野坂啓介<野坂医院>
片山征爾、竹下久由<安来第一病院>
山本大介、ト藏浩和<安来第一病院>
鎌田佳代子、江原真理子<安来第一病院>
新田則之<介護老人保健施設昌寿苑>

益田市(9)

坪内健、藤木僚<松ヶ丘病院>
木谷光博<益田赤十字病院>
金島新一<金島胃腸科外科>
大森治樹<石見クリニック>
篠崎克也<さくらクリニック>
林 正巳<清澄メリアル林医院>
井上貴雄<あすかクリニック>
松本祐二<松本医院>

津和野町(1)

飯島献一<津和野共存病院>

吉賀町(1)

小笠原康二<小笠原医院>

浜田市(9)

島田康夫<島田病院>
中村慎一<中村医院>
田中新一<心療内科田中クリニック>
彌重博巳<彌重内科眼科医院>
沖田浩一<沖田内科医院>
松本貴久<西川病院>
北條宣政、井上幸哉
<浜田医療センター>
笠田 守<笠田医院>

江津市(5)

中澤芳夫、関本 裕
<済生会江津総合病院>
山崎一成<山崎病院>
森 眞爾<森医院>
堀江 裕<済生会江津総合病院>

大田市(3)

岡田和悟<大田シルバークリニック>
梅枝伸行<うめがえ内科クリニック>
安田英彰<石東病院>

川本町(2)

加藤節司、山口拓也<加藤病院>

美郷町(1)

秦 憲明<秦クリニック>

邑南町(3)

河野圭一<河野医院>
高橋亮吏<星ヶ丘クリニック>
周藤由紀美<三笠記念クリニック>

雲南市(3)

今岡大輔<奥出雲コスモ病院>
西村昌幸<西村医院>
遠藤健史<雲南市立病院>

奥出雲町(1)

山根冠児<永生クリニック>

飯南町(1)

石橋和樹<飯南病院>

- | | |
|---------|---------------|
| 1. 調査時期 | 平成31年4月 |
| 2. 調査方法 | 郵送による送付・回収 |
| 3. 対象者 | 89人（県内サポート医数） |
| 4. 回答者 | 68人（回答率：76%） |

結果1 これまでの活動について

活動したことがある人の割合

自ら又は他の認知症サポート医と連携で実施した活動

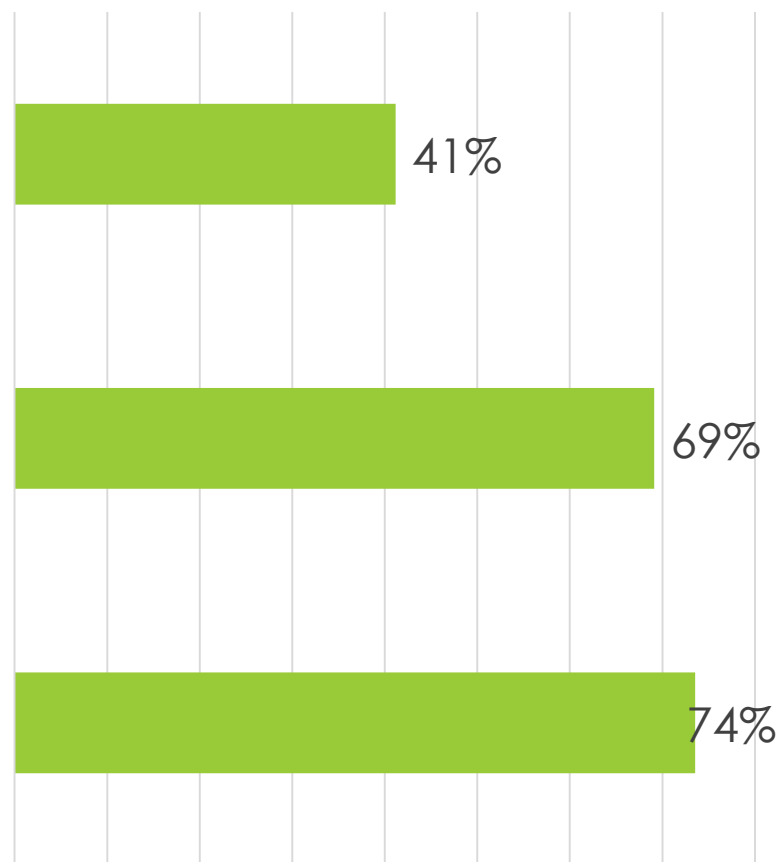
41%

かかりつけ医や医師会との連携（要請）による活動

69%

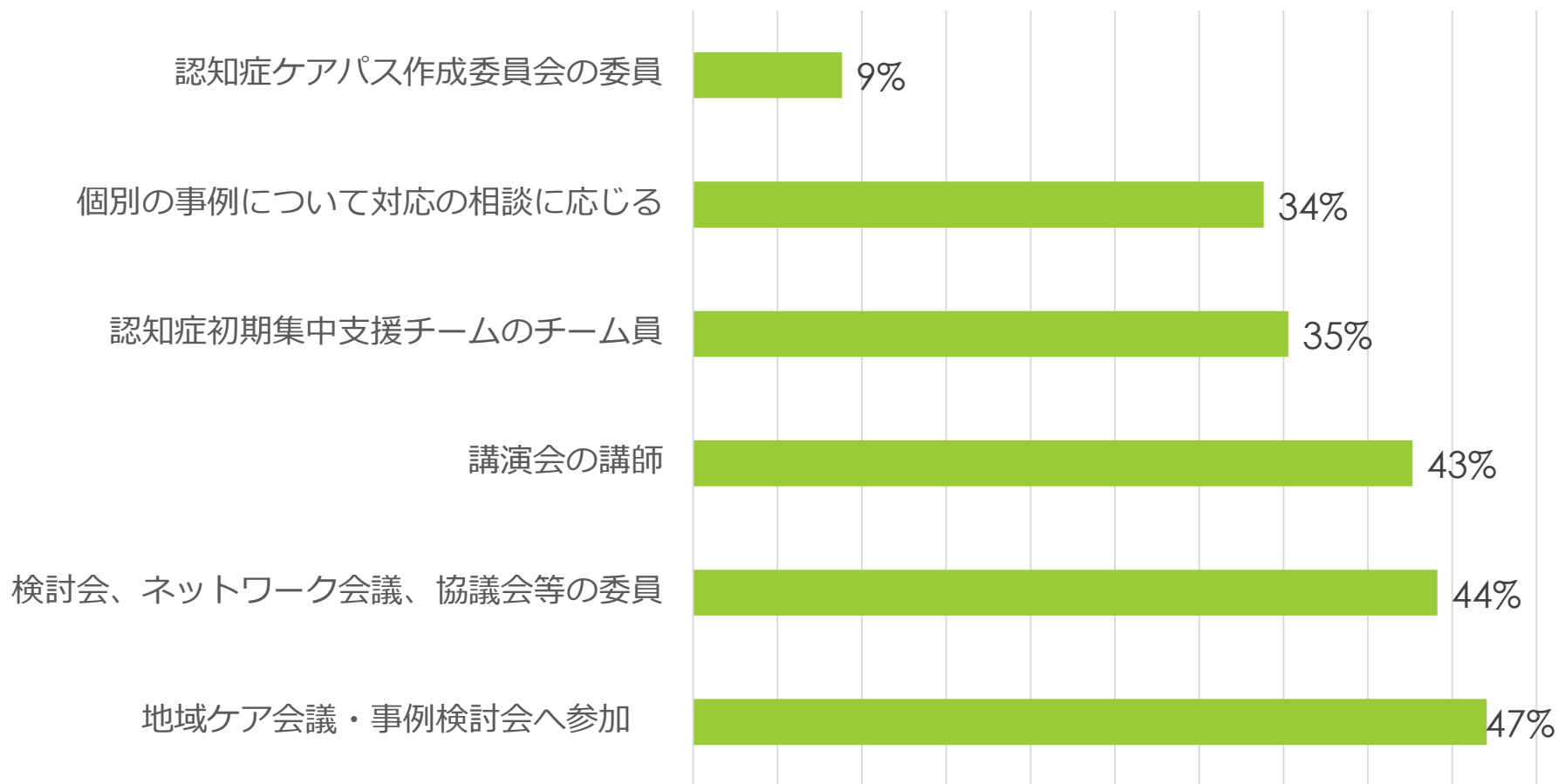
市町村や保健所との連携（要請）による活動

74%



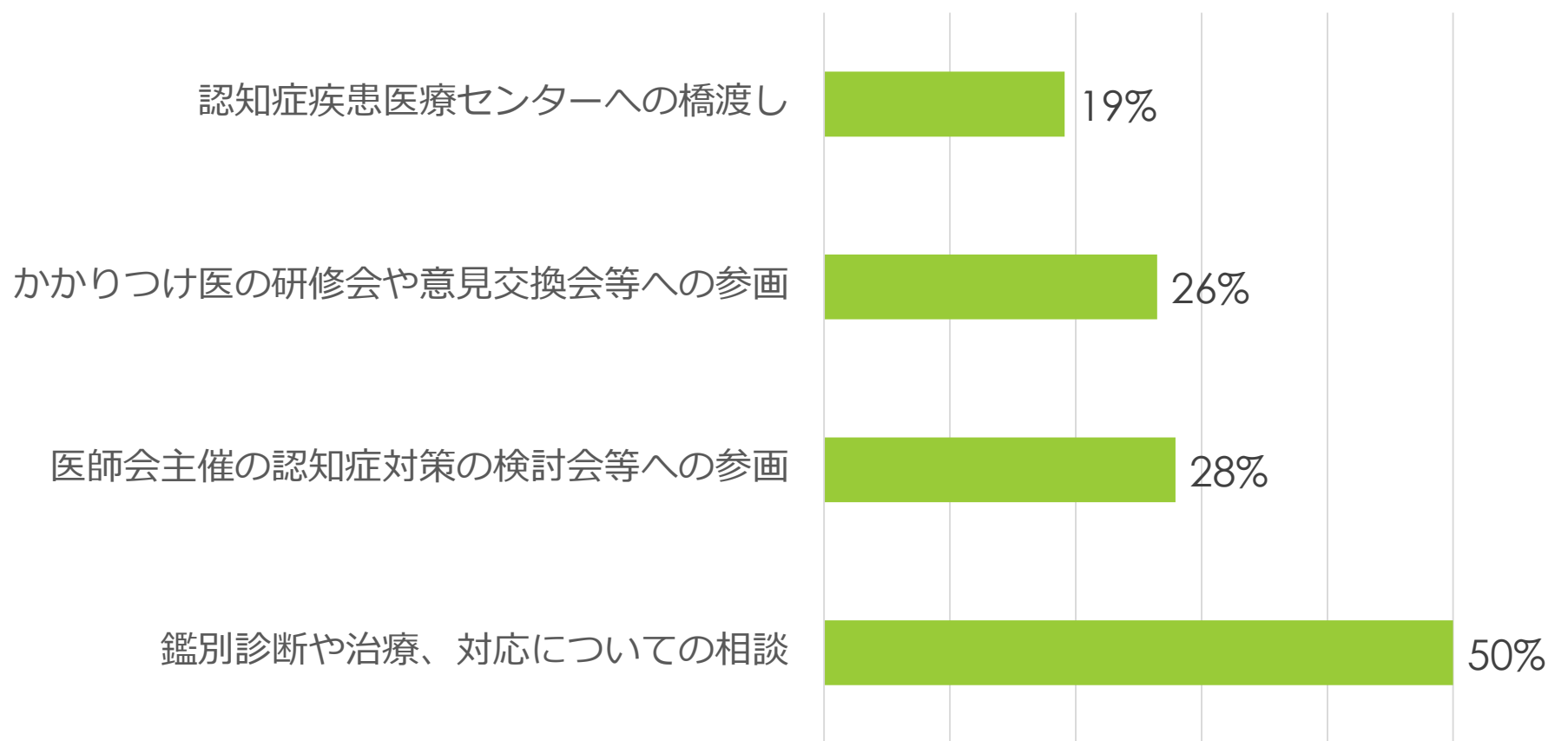
結果1 これまでの活動について

市町村や保健所との連携（要請）による活動



結果1 これまでの活動について

かかりつけ医や医師会との連携（要請）による活動



結果1 これまでの活動について

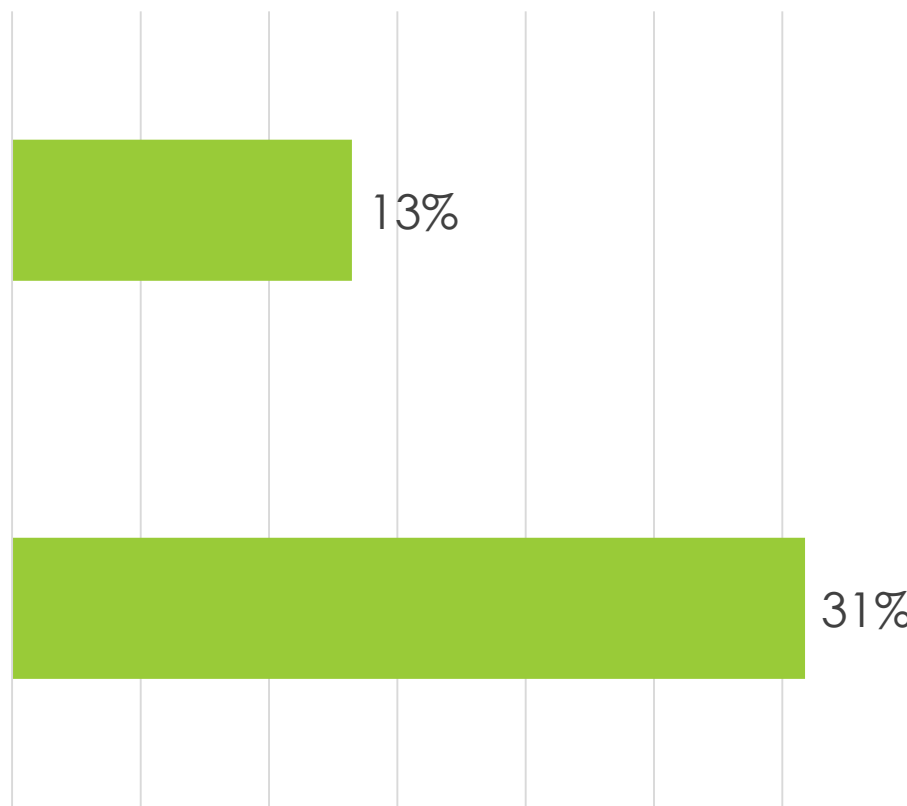
自ら又は他の認知症サポート医と連携で実施した活動

認知症サポート医の連絡会、ネット
ワーク会議等を開催

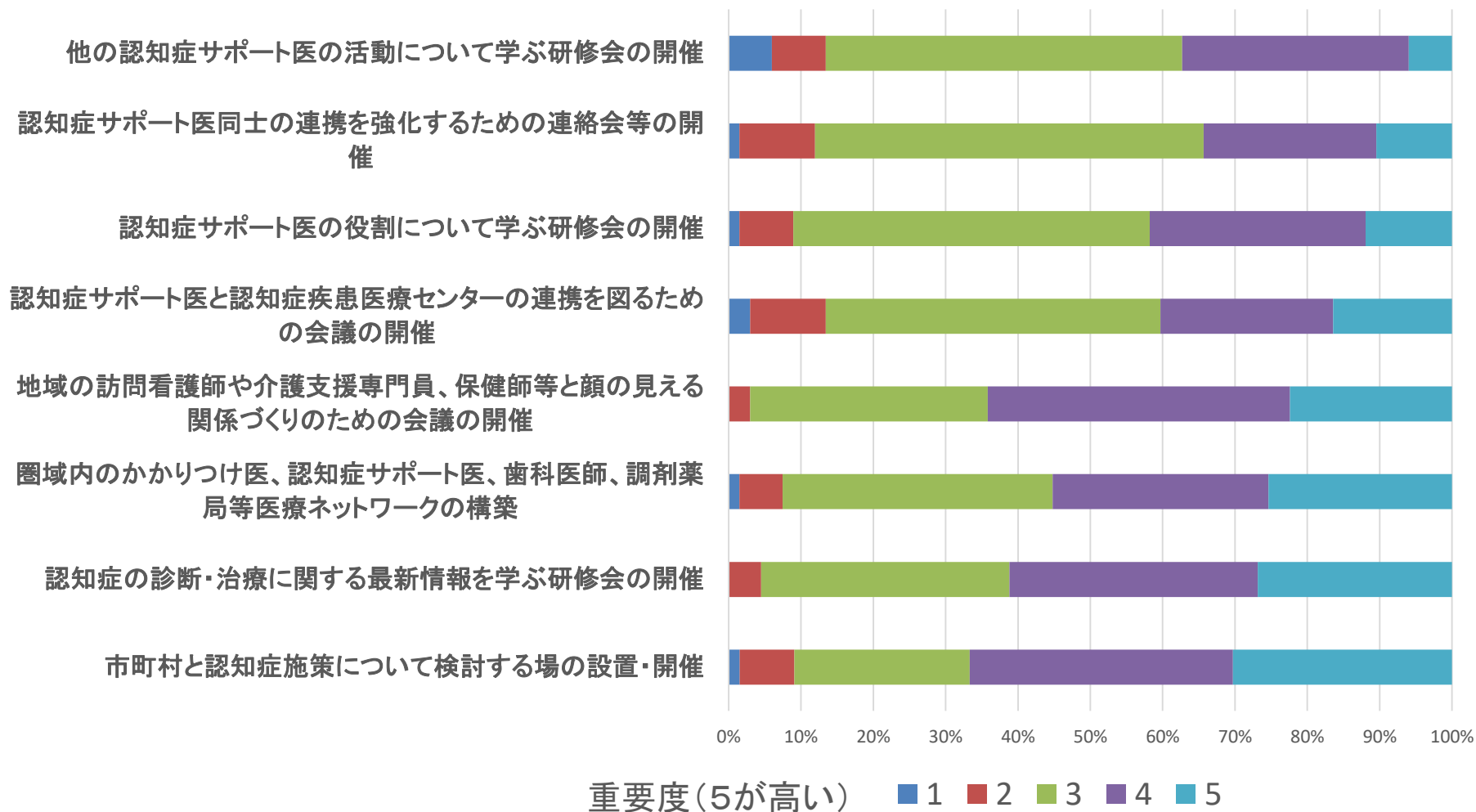
13%

講演会や出前講座等

31%

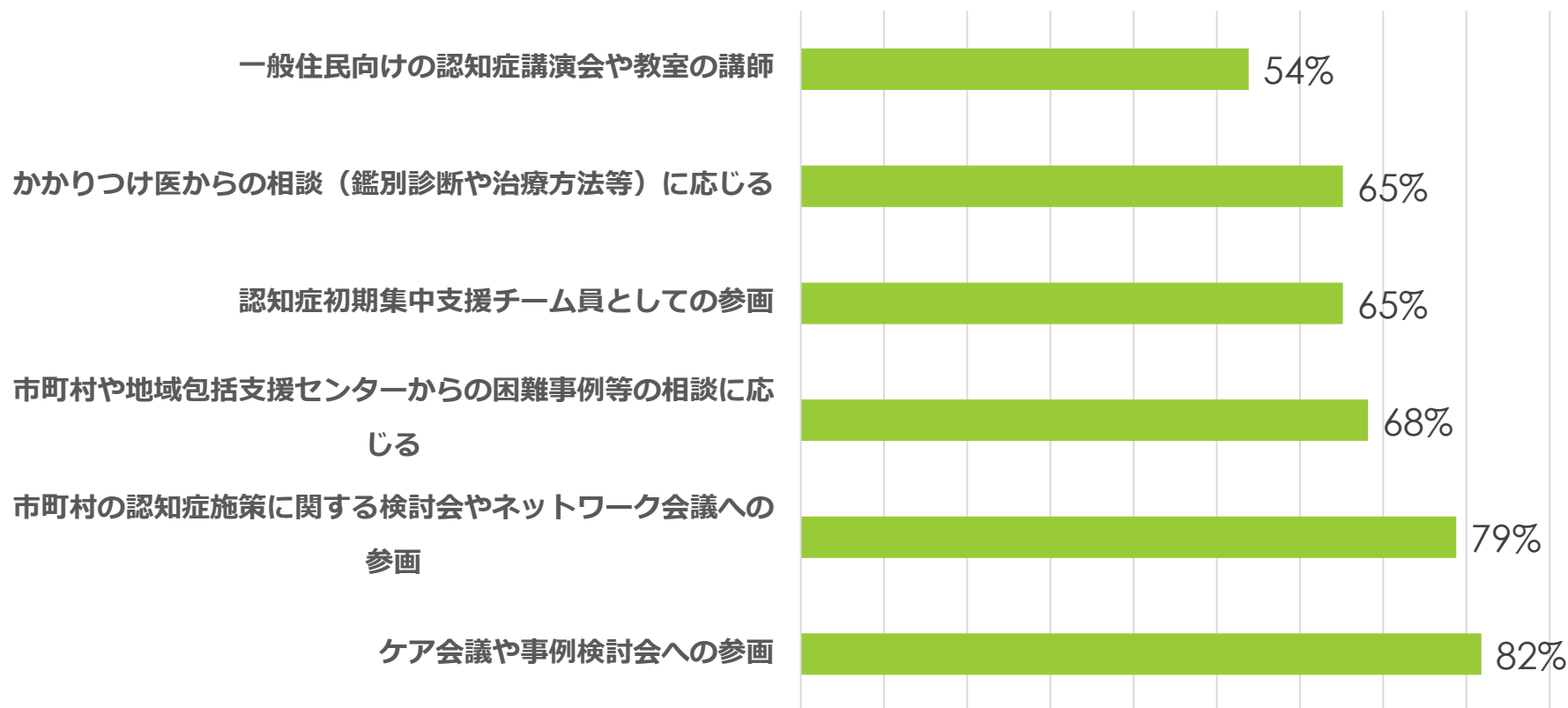


結果2 今後の活動について



結果2 今後の活動について

活動したい・できると思う人の割合



活動が難しいと思う主な理由・・・

- 専門的知識や経験がない。
- 活動をするのは専門医が妥当。
- 診療で忙しいため時間がない。
- 院外での活動を認められていない。

- 院内で講習をすることで患者への対応が向上した。
- 治療の仲介や相談窓口としての活動が重要。
- 活動していて結果が感じられない。活動内容を見直す必要があるのではないか。
- 浜田地区でもサポート医研修会を開いてほしい。
- 認知症の診断治療は日進月歩のため、新しい知識を得る機会が必要。

- 7割以上のサポート医のみなさんは何らかの活動をされている。
- これまでの活動で多いのは
 - ①事例検討会や会議への参加
 - ②鑑別診断や治療の相談
 - ③講演会や出前講座の講師 など

- 今後、重要と考えられているのは
 - ①市町村との検討の場
 - ②診断・治療の最新情報を学ぶ研修会
 - ③関係者のネットワーク構築

- 今後、したい・できる活動は
 - ①ケア会議や事例検討会への参加
 - ②市町村の検討会や会議への参加
 - ③市町村等からの困難事例への相談対応

- ①圏域・市町村ごとの連携体制の構築
⇒事例検討会、ネットワーク会議等の開催
(サポート医、市町村、保健所、
認知症疾患医療センターが中心に)
- ②地域の関係者（かかりつけ医、訪問看護師、
ケアマネ等）との関係づくり
⇒研修会の内容充実や日頃からの相談